

## H26 午後 2 問題 1 を評価して

2016/3/11

by koyano

先ず、私が考える、問題文から読み取れる題意と執筆上での留意点を述べます。

### 設問ア

#### 1. プロジェクトの特徴と見積りのために入手した情報

##### 1.1 プロジェクトの特徴

特になし

前触れとして、2.1 で考慮する特徴には触れる。

さらに私の立場(PM)もここで述べておく。

##### 1.2 工数を見積もった時期と入手した情報

特になし

- ・組織の生産性の基準値、類似プロジェクトの経験値、公表の調査結果
- ・入手した時期とその情報の精度

### 設問イ

#### 2. 工数の見積り方法と工夫点

##### 2.1 工数の見積り方法 **【具体的に述べる】**

- ・トップダウン見積り、ボトムアップ見積り、組み合わせ
- ・プロジェクトの特徴を考慮する⇒開発技術、品質目標、スケジュール、要員体制)

判断した根拠は「具体的に」。

##### 2.2 見積りでの工夫点 **【具体的に述べる】**

- ・工夫（実験や選考で係数を実測する）

### 設問ウ

#### 3. プロジェクト運営面での施策、実施状況とその評価

##### 3.1 コントロールするためのプロジェクト運営面での施策、実施状況**【具体的に述べる】**

- ・開発標準の整備と周知徹底、作業割り当て
- ・構成管理でツールを活用して・・・

「重要な施策」に絞る。

##### 3.2 発見した問題点とその対策

- ・実績と見積りとの差異や全通条件の変更の把握
- ・コストや進捗に影響を与える問題を早期に発見して対策を実施

##### 3.3 評価

特になし

最後に成功だと評価せよ。

**A** の評価とさせていただきます。

総評 良く書けている論文です。

この問題 1 は問題文だけで 19 行あり、H23～ H27 の中では最長の文字数になります。内容も PMBOK や教科書に載っている一々最もなお勧め PM 手法ばかりです。

ここまで丁寧に書かれているということは、論文作成では問題文を忠実に踏襲したシナリオが高得点につながるといえます。(アジャイル流見積もりやコントロールなどは論外です。)

その点で、本論文は問題文、設問文の主旨に沿っています。

1.1 プロジェクト特徴は、過去添削したパターンとほぼ同じです。1.1 節は時間をかける箇所ではありませんので、これで結構です。ただし設問イウで論じる『伏線を張る』ことに気を配る必要はあります。

まだ1ヶ月ありますので、「手書き一発」で時間を計り2時間20分以内を目指す訓練をされるのが良いでしょう。本番では集中度が違うので20分は縮まります。

平成26年間1 評価票					
条件	内容	重み	評価	コメント	備考
条件1	1)設問アの字数制限「800字以内」が守られているか			問題なし(775)	1つでも該当すればD
	2)設問イの字数制限「800字以上1600字以内」が守られているか			問題なし(1000)	
	3)設問ウの字数制限「600字以上1200字以内」が守られているか			問題なし(925)	
条件2	1)設問アを反映している見出しか	2	2		
	2)設問イを反映している見出しか	3	3		
	3)設問ウを反映している見出しか	3	3		
条件3	1)ア見出しに合致した内容になっているか	4	3		
	2)イ見出しに合致した内容になっているか	5	5		
	3)ウ見出しに合致した内容になっているか	5	4		
	4)ア問題文で問われている内容になっているか	5	4		
	5)イ問題文で問われている内容になっているか	6	5		
	6)ウ問題文で問われている内容になっているか	6	5		
条件4	読みやすい丁寧な字で記述されているか	3	3		
条件5	試験区分の内容になっているか	3	3		
条件6	1)一文が長からず読みやすいか	4	4		
	2)結論から先に書かれているので分かりやすいか	4	3		
	3)理由が記述されているので分かりやすいか	4	3		
	4)具体例が記述されているので分かりやすいか	5	4		
条件7	1)アの記述量は空行3行以下まで記述されているか	3	3	1行空白	
	2)イの記述量は最低字数制限の1.2倍程度は記述されているか	3	3	960<(1000)	
	3)ウの記述量は最低字数制限の1.2倍程度は記述されているか	3	3	720<(925)	
	4)アイウの各段落の記述量が適切であるか	5	4		
条件8	「です/ます」、句読点の禁則など統一され最低限の記述スタイルが守られているか	2	2		
	受け身表現を多用せず、気にならないか。	1	1		
条件9	十分な知識が記述されているか	3	3		
条件10	定量的表現がされているか	2	1		
	合計	84	74	88%	
(A:100~75 B:74~60 C:59~45 D:44~0)					

**A. 良い個所についてコメントします。**

1. 一文は長からず、インデントもあり、読みやすい文章です。
2. 3 ページ目の 11 行目、「性能要件未達に対するリスク軽減策としてリスク費用盛り込む」  
⇒コンテンツジェンシー予備費の盛り込みなど配慮が行き届いています。  
そして、このリスク対応が設問ウの”発見した問題の対策”の布石になっています。
3. 8 ページ目の 1 行目、「・・・これを徹底する意義を PM として伝えた。」  
⇒PM の役割が読み手に伝わりいいですね。
4. 8 ページ目の 3～5 行目、「プロジェクトの進捗においては、見積もり工数の実績との差異を常に把握し、プロジェクトのコストや進捗に影響を与える場合は、必要な対策を行う。」  
⇒問題文からの引用ですがパンチが効いています。さらに原文にある”前提条件の変更内容”を削除しているなど、旨く適用させています。
5. 「具体的には、・・・」と述べているので、注目して読むことができます。

**B. 次に、マイナス要素の強い個所についてコメントします。**

特にありません。

**C. 最後に、チョットした表現でよくなる個所についてコメントします。**

特にありません。

以上